

令和6年12月吉日

市内小学校児童の保護者の皆様へ

教育長に着任して約2か月の間に市内19校の小学校を全て回り、各学校の授業や子どもたちの表情を見させていただきました。どの学校でも元気な挨拶が飛び交い、子どものパワーに圧倒されました。

あっという間に12月に入り、今年も残り僅かとなりました。日頃から忙しい日々が続くと、「早くしなさい」「ぐずぐずしない」「もっと〇〇をやりなさい」など、いつの間にか子どもを叱っていることはないでしょうか？私も小学生の自分の子どもを叱ることがあります。やらなければならないことがあるのにゲームやテレビやYou Tube視聴を優先し、のんびりしている娘を見ているとイライラしてしまいます。子どもも自己主張が段々強くなり、ぶつかり合うことが年々増えてきたように感じます。また、叱るとは逆に、保護者も子どもも忙しすぎて、ぶつかる時間すらもなく、子どもとの会話がほとんどないご家庭はないでしょうか？

ご承知の方も多いと思いますが、全ての子どもたちは頑張っています。頑張る尺度は皆様から見れば満足いかないこともあるかもしれませんが、その子なりに頑張っています。ダメなところばかり指摘するのではなく、良い点を見つけてください。「もっと頑張れ」ではなく、「よく頑張った」と、褒めてあげてほしいです。決して、通知表の「よくできる」の数だけで子どもの頑張りを評価しないでください。小学生の成長は勉強だけではありません。何を頑張ったか、どんな特技があって、何が好きなのか、これから何に力を入れていきたいか、どんな大人になりたいか、などについて、自らチャレンジしたくなるような前向きなアドバイスを含めた会話をお願いします。そして、是非、子どもにチャレンジさせ、失敗するまで見守ってください。「何事も失敗しても構わないから全力で取り組むことが大切だ」と、子どもが自覚することに重点を置いてください。これが、これからの激動の時代を生きていく力につながります。

多くの子どもは家庭から応援され、褒められ、愛されることが一番の安らぎに繋がります。是非、この年末年始は多くのご家庭で保護者と子どもが向き合い、「子どもの自主的なチャレンジ」を引き出す機会にしていいただければと思います。

皆様が良いお年をお迎えできることを祈念しております。

流山市教育委員会 教育長 吉田瑞穂



教育長Instagram



教育委員会ホームページ